



御霊ヶ下・大構 町内会

さんあいしんぶん

Vol.24
特別号

2021 年（令和 3 年）3 月 発行（第 24・特別号）

町内会のホームページはこちら → <http://daigono1.info/index2.html>



令和二年度は新型コロナウイルスに始まり、いまだ終息せず、不自由な生活を余儀なくされたまま令和三年度を迎えようとしています。令和二年度は町内会設立五十周年にあたり、記念に残る行事もやりたかったのですが、こどもたちのために規模を大幅に縮小した「地藏盆」を実施したにとどまりました。この間、時間は十分にあり、町内会について、設立から、現在、そしてその先を考えてみました。

はじめに

御霊ヶ下町・大構町に
お住まいのみなさまへ



町内会のあゆみ

町内会は昭和四十六年（一九七二）設立以来五十年、半世紀にわたる活動が続けてくることができました。設立当初は、新興住宅地として畑や田んぼの中に分譲住宅が建設され、様々なところから移り住んでこられた、お互いが知らない者同士の寄り合い地域でした。まず子どもたちの友達付き合いをきつかけに、「向こう三軒両隣」が徐々に挨拶するようになり、家族同士のお付き合いも活発になってきました。住民が増えるに従い、家庭ごみ、大型ごみ回収、住環境保全・改善など生活に直結する問題も次々と発生し、解決のためには役所との交渉の必要性も高まり、住民の、住民による、住民のための町内会」の役割が大きくなりました。小学校も池田小学校には入りきらなくなり、



醍醐道あたりから万代川方向の風景、見渡す限り田園風景がひろがります。昭和 40 年 5 月（竹村氏提供）。



町内の消火器は引っ張り出すと警報になります。

昭和五十九年（一九八四）池田東小学校が開校。学区の町内会同士のお付き合いも始まり、町内会対抗運動会、お祭り、地藏盆、リクリエーション、防火・防災・防犯・交通・公園愛護委員会、同好会活動などなど、お互いを知り合い、「住んで良かった」「住み続けたい」「住みたい」と言われるまちづくりを目標に、役割を分担し、ボランティア精神で活動してきました。



町内の安心マーク入りヘルメット。

町内会の現状

設立当初から、町内にお住まいの方は家族が町内会に入会するのが当たり前で、子どもからお年寄りまで皆さんが、町内会会員として、意見の相違もありましたが、お互いに理解、協力しながら運営してきました。



学区体育振興会主催の町内会対抗ソフトボール大会。

組長を一年間やるのは大変だったが、町内のこと、地域のことがわかり、役が終わってからも立ち話をしたり、お茶をしたり、食事に行ったりもしているなど、関係性が広がって良かったという思いがある一方、子どもが大きくなったので地域行事への参加機会が減り、町内会との関



地蔵盆で公園に特設プールで水遊び。



学区体育振興会主催のグラウンドゴルフ大会。

係が希薄になったので退会するといった、一方からすれば自分本位の方もおられます。体調が悪い、家族の介護で時間がない、など、誰もが思いやりにより融通できる組長免除のケースもある会則のもとで、可能な限り不公平感のない運営が必要と考えます。



町内自主防災会主催の防災訓練に子どもたちも。



学区体育振興会主催の体育祭での玉入れ。

町内会の必要性とお願い

日本列島のあちこちで地震が発生しており、科学的根拠をもとに「南海トラフの大地震」が三十年以内に発生する可能性が高いとの予測もある中、「町内会は、住民が、住民のために役に立ち、助けてもらえる関係づくりの場」で



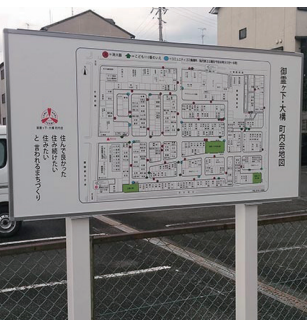
秋まつり、町内の「こども樽みこし」をみんなでかついで町内を巡行、全員集合の記念撮影。

あることの意味を再確認し、今こそ、絆の強い町内会の再建が必要と考えます。今を理解し、今後必要とされる町内会のあり方を一緒に考え、運営していきませんか。特に、一旦退会された方、まだ加入されていない方々の再入会、入会をお待ちしています。



落葉堆肥化事業での堆肥分配日。

町内三カ所に設置しています「町内会会員地図」の更新を令和三年六月までには実施しますので、新たに入会を希望される方は、組長さんにお申し込みください。



町内会会員の地図を更新します。